

治療法の説明

気の診断とは

気の診断は、東洋医学の基礎である気を筋肉を使った検査法で判定する方法です。内臓に対しての診断や、筋肉に対しての診断、関節に対しての診断等々様々な検査をすることができます。また西洋医学では出てこないような細かい点までカバーできる場合があります。筋肉反射を利用する訳ですから感覚的な診断です。症状等と合わせて出来る限りの情報を集めます。もちろん西洋医学的な血液検査やMRIやCT所見があるのならそれも参考にして総合的に判断していきます。

御園治療院オリジナルの筋力検査

米国の優秀なカイロプラクターであるジョン・グッドハート博士が考案したアプライドキネシオロジーという方法があります。この検査法を応用したものが大村博士が開発したO-リングテストです。これらの方法は研究をしていくには優れた方法ですが、診断するのに時間がかかったり介助者を必要とする事があります。我々のような臨床家には運用しにくいのではないかと考え、この問題を解決しようと思い、これらの診断法を原型にしてO-チェックと言う指の抵抗を利用した診断法を考えました。O-チェック法はイメージングを多用し、熟練のいる方法ですが、即決できるスピードと筋肉に対する負荷が殆どないと言うのが特長です。また遠隔的な診断も可能であり、様々な発展性を含んでいます。東洋医学で言われている気の存在を感知するには優れた方法です。

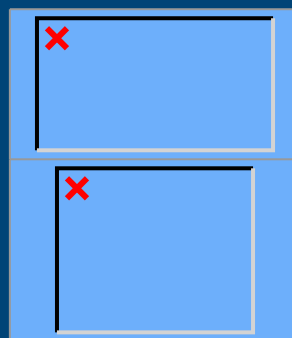
またO-チェック法のみではなく、触診を発展させた皮膚張力検査法もアプライドキネシオロジーの対応筋を意識した方法です。患者さん本人の身体で調べる無負荷筋力テストでは、その刺激を患者さん本人が確認する事ができます。

O-チェック法や他の筋力テストは気功治療と同様にイメージングを使います。古来からある腹診図を元にしてそれをイメージングしたり、音素（術者が発する音）を唱えて病態を把握する事ができます。人間の身体は非常に微弱な刺激をも感知する能力が潜在的にあり、音やイメージと言う通常なら殆ど無視できるような刺激を受けても身体は反応しているのです。これを読み取る方法が気の診断であり、筋力検査から発展させたO-チェック法なのです。

素人でもわかる筋力検査の実験

それでは今から筋力検査の簡単な方法を御紹介致します。

1. まず、人指し指以外の指を軽く折り曲げて下さい
2. そして人指し指を上にあげるようにして下さい（伸ばす）
3. 右、左とあげてみて比較してみてください
4. どちらか上げにくい（重い感じのある）方があると思います
5. この側の指が筋力検査をする指になります
6. 検査側の指が重いと感じたら、その後、楽しいことを意識してみてください。イメージですね・・・
7. イメージがうまくいかない人は写真なんかがあるとイメージしやすいですね・・・思わず笑えてくるような写真なんかがあればとても効果的だと思います
8. イメージができたらもう一度今まで重かった指を同じような形で上に上げて下さい
9. どうですか？
10. 確認の為、あげやすかった指ともう一度比べて下さい



今まであげにくかった指があげやすく感じた人があったと思います。イメージによって関節の動きが良くなったのです。簡単には信じにくいかもしれませんが、イメージによって関節の動きが変化したのです。もちろん関節の可動域があがっていれば筋力もそれなりにあがります。

この方法で違いが良くわからないと感じた人があったと思います。イメージがうまくできない人や身体の硬い人にこのような現象はよくみられます。身体にある緊張をほぐしましょう

肩の力を抜き、下腹部をひきしめます。息を大きく吸い、心の底から笑った時と同様にして息を吐ききって下さい。

この時肩に力が入らないように気をつけて下さいね・・・

如何でしょうか？少しは違いがわかりましたか？この方法でもわかりにくいなあ～と感じる人は、呼吸を色々変えながらやってみてください

大きく息を吸いきった時、吐ききった時、その間等々で指の動きが変化するところがあると思います。もちろん肩の力を抜いてお腹だけで呼吸をしてみてください。肩の力を抜くのがコツです。

何故肩の力を抜くかということ肩の力が入っていると胸が緊張しイメージングによって変化する筋力検査ができにくくなるのです。呼吸はイメージととても関係するのです。例えば一つのイメージをしてみてください。例えばりんごを思い浮かべてみてください。色や形、大きさ・・・ハッキリイメージがしやすいのは息を吐ききった状態に近い時がやりやすいと思います。